

浜岡砂丘



増田組ホームページ



カタログパーク

エコアクション21中間審査

令和七年四月十一日工コア
クション21の中間審査を実施
しました。

当社では、退職者との引継ぎ事項がうまくできず、審査申請忘れにより、平成二十九年に認証が取下げられていますが、令和四年四月十九日

に登録審査を受け、再認証されてから早三年が経ちました。審査内容はエコアクション

ガイドラインの要求事項を満たしているか確認しました内容については十六項目あり、提出済の環境レポートに沿つて行されました。前回の審査

III 環境経営方針

《环境理念》

株式会社増田組は建設業を通じて、賃貸法規の遵守を基本としより良い地域社会のために環境保全活動の継続的推進と環境型社会の構築に寄与していくことを目指します。

指針

- (1)組織全体でPDCAサイクルを回し、確実経営の継続的改善に努めます。
- (2) 化石資源と人間エネルギーの低減をはかり、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (3) 環境の保護と再生資源化に努めます。
- (4) 環境の尊重に努めます。
- (5) 自らが実行する建設工事の環境に配慮した施工に取り組みます。
- (6) 環境保全活動等に取り組みます。
- (7) 環境全般と連携し、環境問題の啓発に努めます。

制定年月日 2020年10月1日
株式会社増田組

IV 環境経営目標

1. 運用期間(2023年10月～2024年8月)の環境目標

項目	単位	基準期間		運用期間(第1回期)	
		2023年10月 ～2023年9月	2024年8月	2023年10月 ～2024年8月	2024年8月
二酸化炭素排出量(全社)	kg-CO ₂	90,182	-5%	85,654	-5%
事務所	kWh	22,457	-5%	21,334	-5%
建設現場	L	7,898	-5%	7,587	-5%
商業物	kWh	14,797	-5%	14,057	-5%
水道使用量	m ³	21,815	-5%	20,534	-5%
水道使用量	m ³	1,679	-5%	1,529	-5%
建設業物排出量	t	1,699	-5%	1,595	-5%
商業業物排出量	t	199	-5%	186	-5%
環境経営の推進	目標割合リサイクル率向上 環境配慮工事の実施	% 件	100 1	95%以上 1	1
環境経営の推進	ICTによる請工事数	件	0	0	1

1. 「目標」の実現に向けた運用期間の初期出発量は、各事業者別初期出発量・特設目標との差額を基準とし、各回期の初期出発量を算出する。経済産業省の公表による中古電力販売の初期出発量である0.45kWh/kWh(2023年8月)を用いる。

2. 環境経営の推進(電力・ガスリソ)は、企画の0.1%未満にないが、本社(事務所)に認める。

3. 建設業物排出量は、建設のもの、各都道府県に認めた。

4. 建設業物排出量は、各都道府県に認めた環境配慮工事の従量課定額は施工ロセスチェックリストに基づき前回に記述注文打ち合わせたと算定する。

5. 商業物排出は実現していないため、目標設定はしていない。

2. 中期の環境目標

項目	単位	基準年度		中長期目標	
		54回	2024年度10月 ～2025年度9月	2025年度10月 ～2026年度9月	2026年度10月 ～2027年度9月
二酸化炭素排出量(全社)	kg-CO ₂	90,182	-5%	-5%	-7%
事務所	kWh	22,457	-5%	-5%	-7%
建設現場	L	7,898	-5%	-5%	-7%
商業物	kWh	14,797	-5%	-5%	-7%
商業物排出量	L	21,815	-5%	-5%	-7%
水道使用量	t	1,679	-5%	-5%	-7%
水道使用量	t	199	-5%	-5%	-7%
建設業物排出量	t	1,699	-5%	-5%	-7%
商業業物排出量	t	199	-5%	-5%	-7%
水道使用量	m ³	199	-5%	-5%	-7%
建設業物排出量(目標割合リサイクル率向上 環境配慮工事の実施)	% 件	100 1	95%以上 2件	95%以上 2件	95%以上 1件
建設業物排出量(目標割合リサイクル率向上 環境配慮工事の実施)	件	0	1件	1件	1件

価を頂いている
部分もありまし
た。平成二十三
年に初めてエコ
アクション21を
取得してから途
中取下げられて

この指摘を受け次
の時までに改善活
動を実施しま

社内の「P D C A」
「plan = 計画」「do = 実行」
「check = 平価」「action = 改善」

をしつかり回してエコアクション21と普段の業務に取り組み、改善活動をしていきたい。

構築した環境活動が現在でも差異なくいかされて、しかも評価をして頂いた事に発足時の方々の努力が窺えるとともに継続する事の大切さを改め学びました。

委員会として活動を続けてまいりました。当時の委員会のメンバーズ生态く

